

## 大学入学共通テスト 受験上の配慮事項申請について

大学入学共通テストでは、病気・負傷や障害等のために、受験に際して配慮を希望する志願者に対し、個々の症状や状態等に応じた受験上の配慮を行っています。大学入試センターは志願者からの申請を審査の上、配慮事項を決定します。詳細はホームページで「受験上の配慮案内(障害等のある方への配慮案内)」(7月中旬公開予定)をご確認ください。

昨年度、聴覚に関する配慮事項は以下の内容がありました。  
この中から、申請したい項目を複数選択できます。

- 手話通訳士等の配置と注意事項等の文章による伝達
- 注意事項等の文章による伝達
- 座席を前列に指定
- 補聴器又は人工内耳の装用
- リスニングの免除
- リスニングにおける音声聴取の方法(どれか1つ)

大学入試センターでは  
事前相談を随時受け付けて  
います。

お問い合わせ先

TEL:03-3465-8600

FAX:03-3485-1771

<https://www.dnc.ac.jp>

- ・リスニングにおける音声聴取方法として「補聴援助システム」の持参使用  
(\*今年度から使用できるようになりました。)
- ・イヤホン又はヘッドホンの持参使用
- ・CDプレイヤーのスピーカーから直接音声を聞く方法(リスニングのみ別室)
- ・補聴器を外してイヤホンを使用
- ・補聴器又は人工内耳のコネクターに持参したコードを接続
- ・ヘッドホンの貸与

## 私立大学 受験上の配慮事項申請について

私学の場合は、必ず事前に教育相談を行ってください。その後、大学により形式は違ってきますが、受験に際して配慮して欲しいことを書面にて提出する場合があります。

昨年度は以下の内容を申請しました。

- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の書面による伝達
- ・試験開始および試験終了の合図
- ・座席を前列に指定(3列目あたり)
- ・リスニングの免除(リスニングがある場合)



## 大学のオープンキャンパスでUDトークを使用しました。

事前にオープンキャンパスに参加する旨を大学に連絡しておきました。Wi-Fiをお借りし、体験授業では、先生にロジャータッチスクリーンマイクを付けてもらい、自分のスマートフォンに起こされた文字を見て授業を受けることができました。教育相談の時も、UDトークを使い、情報を視覚的に得ることができました。(文責 中田)



アプリのインストール(無料版)はストアから

UDトークとは音声認識と自動翻訳を活用した生活やビジネスの様々なシーンで活躍できるアプリです。「UD」とはUniversal Designの頭文字をとっています。  
・コミュニケーション支援、  
・テキスト入力支援、  
・文字起こし・議事録作成支援として使われています。  
(UDトーク HP参照)

## 補聴器 騒音抑制の機能について

補聴器の機能の1つに、「騒音抑制」があるのはご存じですか。この機能をつけると、人の声とそれ以外の音(騒音)を補聴器が判別し、騒音と判断された音の感度を下げ、人の話し声を強調して耳にとどける機能です。

### どんな音を騒音と判断されるの？

#### ①定常騒音

エアコンの音やパソコンなどの機器のファンの音、一定の速度で走行している車の音など、音の大きさがあまり変化せず、一定の音に聞こえる音を定常騒音といわれます。この定常騒音を自動で音を下げます。

#### ②定常騒音以外の音(人の声以外)

機械が作動している音、人が作業している音など、大きさが変化している音についても、人の声の性質と違うと判断された場合は低減されます。

騒音抑制の機能には、メリット(人の話し声が強調され、人の声が耳にとどきやすくなる)・デメリット(騒音と判断された場合、聞きたい音も制限される場合がある)があり、全員が同じように騒音抑制をつければいいものではありません。機能をうまく活用して自分に合った補聴器にしてくださいね。騒音抑制機能のオン/オフはろう学校でも調整することができます。

ワイデックス [https://www.widex.com/ja-jp/local/ja-jp/choice/about/digital\\_hearingaids/](https://www.widex.com/ja-jp/local/ja-jp/choice/about/digital_hearingaids/)

## 日常生活音の大きさについて

日常生活の中の音ってどのくらいの大きさかご存じですか？騒音計で実際に測ってみました。一般的に人の話し声は60 dB程度とされています。近くで大きな音が鳴っている時、相手の話が聞きとりにくいと感じた経験はありませんか？騒がしい環境の中で、必要な情報を選択して聴くことは、努力してできるものではありません。音環境に配慮することも合理的配慮の1つです。



ドアの開け閉め  
70 dB程度



雨の音  
70 dB



椅子を引きずる音  
(1 m離れた位置で測定)  
80~95 dB



朝の用意時の保育室  
65~75 dB

## 聴覚障害教育担当者研究会

2023年5月25日木曜日、聴覚障害教育担当者研究会が本校で開催されました。奈良県内の聴覚障害児担当の先生方にお集まりいただき、聴覚障害のきこえに関する研修会や情報交換会を行いました。その中で、難聴の疑似体感について感想をおよせいただきましたので、紹介します。

「聞こえている」と  
「聞き取れている  
(意味が分かっている)」  
の違いに気付くことができました。視覚情報の大切さを感じました。

聞こえにくい状況下の中で、話をきこうとすると、集中してきく必要があった。周りの状況を見て動いたり、推測したりする必要があり、とても疲労感があった。



誰が話しているのか分からない場面では、生徒は取り残されたような気持ちになるかもしれないなと思いました。

話をする時には、表情もあると伝わりやすいと感じた。

たくさんのご参加、ありがとうございました。今回の研修が、担当されるお子さんとの関わりや、配慮の方法について改めて考えるきっかけになれば幸いです。(文責 熊倉)